

「該当教員は採択無関係」

教科書謝礼 市教育長が説明

教科書会社が検定中の教科書を教員に見せて謝礼を渡していた問題で、苫小牧市内の中学校にも該当教員がいたことに関し、市の和野幸夫教育長は15日の定例教育委員会で、「該当教員は教科書の選定資料を作る委員ではなく、採択には関係していない」と説明した。

教科書を見せ、5千円ずつを渡したことが判明。既に全員分が返金されている。市内では小学の算数と、

中学の数学で同社の教科書を採択している。和野教育長は「教員に教科書採択に関する規則の周知と、公務員倫理の徹底が不足していた。責任を感じている」と述べた。

市内では「新興出版社啓林館」(大阪市)の社員が2014年度に、苫小牧の市立中の校長ら延べ9人に

市教委は今後数日中に、胆振教育局と合同で、検定中の教科書を見たときされる各教員に聞き取り調査をし

ユ一

中国や台湾からの観光客に対応するため、JR苫小牧駅南口の交流施設「ココトマ」はカフェに中国語のメニューを導入した。苫小牧駒沢大の中国人留学生の協力で日本語メニューを中国語に翻訳。苫小牧観光

中国や台湾からの観光客に対応するため、JR苫小牧駅南口の交流施設「ココトマ」はカフェに中国語のメニューを導入した。苫小牧駒沢大の中国人留学生の協力で日本語メニューを中国語に翻訳。苫小牧観光

数組が訪れる。カフェで食事を取る客も多い。しかし、日本語のメニュー表では商品を理解してもらうことが難しく、店員は簡単な英語や、絵を描いて説明することもあるとい



コーヒーやアイスクリー

(田鍋里奈)

市民ホール基本構想案

22日から意見公募

苫小牧市の新たな複合公共施設の構想を話し合う市民ホール建設検討委員会の第10回会合が15日、苫小牧市職員会館であった。検討委で基本構想の草案を議論

するのは今回が最後で、市はこれまでの意見を踏まえて構想の成案をまとめ、22日からパブリックコメント(意見公募)を行う考え。この日は、市が統合の検

白老川など3河川17年度以降に改修整備計画案【白老】室蘭建設管理部は15日、しろおい創造空間「蔵」(本町1)で第2回白老川水系河川整備計画検討委員会を開き、氾濫を防ぐため、白老川など町内3河川計13・8キロを整備する

ものない物昔のサな神ことなどを盛り込んだ河川整備計画案をまとめた。同管理部の担当者が、これまでの検討委員会や住民説明会で寄せられた意見を報告。原案では、周辺に住宅地が多い白老川と2014年9月に氾濫したブウベツ川の2河川を整備対象としていたが、同じく14年9月に氾濫し、説明会で住民

度に移転率について市民会館の大ホール(1630席)が24%、小ホール(50、450席)が38%、市労働福祉センターのホール(500席)が26%にとどまっていることに触れ、それぞれの役割や運用形態を再検討し、施設をどう統合するかを考えていく必要性を指摘している。市は、基本構想を3月末に完成させる。(細川智子)